

福祉法人経営

第45号
2025年2月
発行

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
社会福祉法人経営者協議会



主な内容

部会紹介：障害児福祉部会の状況について……………	3
物価上昇時代でも利用者が安心できる空間を維持していくために……………	5
高次脳機能障害者が安心して暮らし続けられるように……………	5
同一敷地内での建替えができず促進施設の利用へ……………	7
地域と共に育む、保育所の新たなスタート……………	9
過去の被災経験を乗り越えて……………	11
想定外の台風に見舞われて……………	11
障害者施設の豪雨被災体験で気づいたこと ～福祉施設の災害対応はどうあるべきか～……………	13
東日本大震災における「奇跡の脱出」を経て……………	15
災害時における個人情報の取扱いと「受援力」……………	18

巻頭言

福祉を取り巻く経営環境の変化

社会福祉法人緑風会 業務執行理事 杉木 康浩



コロナ禍からようやく抜け出せそうかなと思い始めた年明け、能登半島地震があり同年9月には奥能登豪雨と同じ地域に対して災害が続きました。現地の方々のご苦勞は計り知れないものがあります。災害について記憶をたどれば、阪神淡路大地震、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、そしてここ10年ほど頻発する豪雨災害と多くのことがありました。備蓄・BCP・訓練など被災への備えはとても重要ですし、東京都でもDWATが整備されてきています。社会福祉法人にとって防災対策は大きな

経営課題の一つです。

さて、社会福祉法人の経営課題というと広範かつ多岐に亘ります。支援を必要としている方たちに福祉サービスを提供する為に「ヒト」「モノ」「カネ」「トキ」「シラセ」をその業種に合わせて選択・調整し、更にその時の福祉制度・社会状況・経済状況といった経営を取り巻く外部環境に適応しながら計画し行動していかなければなりません。制度という点からすれば社会福祉基礎構造改革（H12）、介護保険制度開始（H12）、社会福祉法人制度改革（H28・H29）などは極めて大きな経営環境の変化と云えます。その背景にある社会状況ならば少子高齢社会、人口減少社会、地域コミュニティの変容、独居高齢者の増加等々といった項目が挙げられ、経済状況ならば国際関係を起因とするエネルギー価格・食料価格の高騰、生産労働人口の減少による人手不足、働き方改革による輸送コストの上昇、人手不足や最低賃金の上昇による賃金水準の上昇等々といった項目が挙げられ、どれも社会福祉法人経営にとって大きな経営環境の変化と云えます。